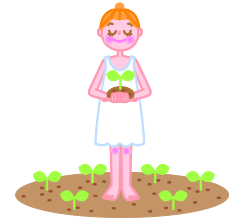


Only one

～ 子どもの「生きる力」を育む家庭教育 ～



今年度のテーマは「生きる」です

2019年3月

発行：能代市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課

OnlyOne
Column

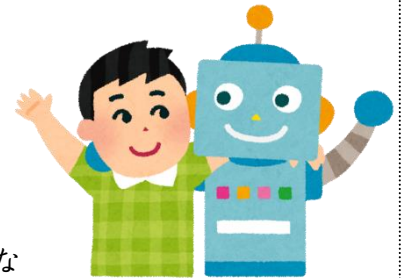
人生100年時代を生きる子どもたち～各論・結び～

能代市社会教育指導員 佐藤 清美

今年度は、「人生100年時代を生きる子どもたち」について3回にわたってお話をしています。前号では「自己分析力」と「ネットワークの構築力」について書きました。今号では「変化への意欲的な関わり力」について書いてみます。

○変化への意欲的な関わり力（自由な考え方や行動力）

進化論を唱えたダーウィンは「最後に生き残るものは、最も強いものでも、最も賢いものでも無く、最も変化に対応できたものだ。」という考えを示したと言われていますが、変化の激しい社会を長く生きることになる子どもたちにとって「変化にどのように関わっていくのか」は大きな課題です。変化に対応するためには、当然ですが、まず変化の兆しに気付かねばなりません。いわゆる「茹でガエル」の理論のように、適応できない人は、徐々に変化する周りの状況に気付かず、茹であがってしまう、つまり手を打つには遅すぎる状況に陥ってしまうわけです。こうならないためには、先入観でものを見ないことが重要です。常に初見であるかのように物事を見ることができる人は、小さなサインにも気付くことができ、適切に対応していくことができるというわけです。



変化に気付く（関わる）力、そして素早く対応できる力を付ける要素は、子どもの頃の経験に潜んでいます。様々なことに失敗を恐れることなく挑戦し、失敗してもそこから学ぶという体験をたくさんすることでこの力は確かなものになっていきます。

挑戦を促すためには、結果にこだわる評価ではなく、経過に注目し、その意欲と努力を評価の対象にすることが重要になります。いろいろなことが初見として表れる子ども時代こそ、変化への対応力の基礎を培う適時といえるのです。

子どもがやりたいと言ったこと、思っていることはできるだけ実現できるように応援（環境を整備）することが保護者や周囲の大人達の大事な役割となります。

○結び

今の子どもたちが、大人が驚くようなテクノロジーの数々を当たり前と考え、自然に受け入れているのを見ても、私たち世代と違った人生を送るのは、現実のように見えます。

長寿化がもたらす恩恵は、煎じ詰めれば「時間」という贈り物だと思いますが、人生が長くなれば目的意識を持って、意欲的に行動し、努力を続けられる人ほど有意義な人生を形作るチャンスを多く持てることとなります。

いずれにしても、結局のところ、自分の人生のシナリオは自分にしか描けないのですから、どのような人生を送るのかは、本人次第なのだということを少しずつ認識させていくことも、とても大切なことだと思います。

👍 おすすめの1冊

能代市立図書館所蔵の「子育て・家庭教育に関する本」のなかから、司書選りすぐりの1冊をご紹介します。

『中学生のための読解力を伸ばす魔法の本棚』中島克治／(小学館)

読書は読解力の向上や語彙の増加だけでなく、思春期の揺れ動く「心」にも効果的です。中学生になると部活や勉強などで忙しく、本を読む時間が少なくなりがちです。この本では、家庭で親が子どもに本をすすめる時のポイントや国語力のアップにつながるサブノートの作り方、国語力を伸ばすブックリストも掲載されています。親子で読んでみませんか。



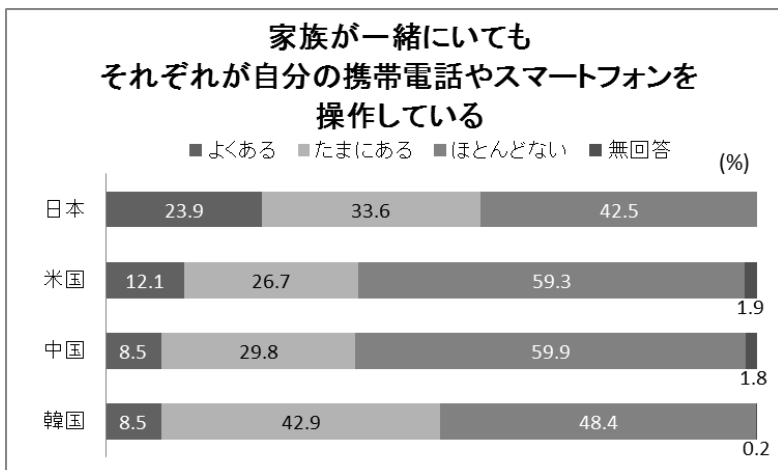
👍 データでみる家庭教育

子育てや家庭教育に関するデータを取りあげます。「今」がわかり、子育てのヒントになるかも？

これは、インターネット社会の親子関係に関する調査を日本・アメリカ・中国・韓国で行ったものの比較です。

右のグラフは、各国の小学生が回答したもので、「よくある」「たまにある」と答えた小学生がおよそ6割と、4カ国の中で最も高い数字となっています。

携帯電話やスマートフォンはとても便利ですが、家族の対話もとても大切です。機器から離れて家族の対話を楽しむ時間を増やしてみてはいかがでしょうか。



国立青少年教育振興機構「インターネット社会の親子関係に関する意識調査—日本・米国・中国・韓国の比較—」より

👍 ひとつこと@家庭教育関係講座

能代市教育委員会では、家庭教育関係講座を実施していますが、そのなかから心にのこるひとつことをご紹介します。

人間の体には37兆個の細胞があります。そのうちの1%が1日に新しくなります。その中で、コピーミスでがん細胞が生まれます。1日にがん細胞はどのくらいできると思いますか？実は5,000個です。すごい多いよね。でも、免疫がやっつけてくれています。だから、例えば運動とかいろんなことをして免疫を高めてください。寝てばかりいると免疫は高まりません。笑うとか、楽しいことをしても免疫が高まるので、がん細胞をやっつけるためにみんなも頑張らないといけません。



秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター センター長 安藤秀明氏「がん教育」より

困ったときには…

子育てで困ったときや、相談したいことがあるとき、下記の相談先へぜひご連絡ください。親身になってお答えいたします。

能代市子育て支援課 家庭児童相談 (89-2955)

めんchocoてらす (89-2948)

能代市子育て支援センター (能代: 52-8115 / ニツ井: 73-3111)

☆ 通信に関するご意見やご感想、家庭教育に関するご相談等は、下記までお気軽にお寄せください。

能代市教育委員会 教育部生涯学習・スポーツ振興課 〒018-3192 能代市ニツ井町字上台1-1

TEL: 0185-73-5285 / FAX: 0185-73-6459 / E-mail: shou-supu@city.noshiro.lg.jp

乳児は 肌を はなすな
幼児は 手を はなすな
少年は 目を はなすな
青年は 心を はなすな